

社会学研究科 修士論文 提出スケジュール・提出要領に関する事項（特別修了者対象）

1. 修士論文 （仮提出）の 提出要領

- (1) **提出期間** 2024年5月15日（水） 9：00～17：00
5月16日（木） 9：00～15：00（時間厳守）
- (2) **提出場所** 池袋キャンパス教務事務センター
- (3) **部数** 2部
* 1部が修士学位論文指導教員に，1部が修士論文第一副査に渡され，修士論文の完成に向けた指導がなされる。
- (4) **提出証** 提出にあたっては，「提出証」を添えること。
* 仮提出用の「提出証」は，池袋キャンパス教務事務センターで配付する。
- (5) **製本** 所定の方法による簡易製本をおこなうこと。
*** 上記の製本方法を満たさない場合は受理されない。**
特に，ばらばらのもの，ばらばらのまま袋に入れたもの，クリップ・輪ゴム・ホチキスで留めたもの，ひもでとじられたもの，穴をあけてフラットファイルでとじたもの，はさみこむだけのバインダーを使用したものなどは受理されないので注意すること。
☞提出に際しては，VI 試験・成績 5 レポート 「レポート・論文等の提出に際しての注意」を参照すること

3. 修士論文 （仮提出）の その他の形式

- (1) **表紙**
「2024年度修士論文（仮提出）」，論文題目，指導教員名，研究科専攻，課程，学生番号および氏名を明記すること。
※その他細かい書式については，指導教員の指示に従うこと。

4. 修士論文 （本提出）の 提出締切・ 提出場所・ 提出届

- (1) **提出期間** 2024年6月26日（水） 9：00～17：00
6月27日（木） 9：00～15：00（時間厳守）
- (2) **提出場所** 池袋キャンパス教務事務センター
- (3) **提出証** 提出にあたっては「社会学研究科修士論文提出届」を添えること。
* 「社会学研究科修士論文提出届」は，5月下旬以降に指導教員から受け取ること。
池袋キャンパス教務事務センターでは配付しない。
☞提出に際しては，VI 試験・成績 5 レポート 「レポート・論文等の提出に際しての注意」を参照すること

5. 修士論文 （本提出）の 提出部数・ 製本・修士 論文認定証

- (1) **部数** 4部（1部は保管用，3部は審査用）
*** 提出部数に不足がある場合は受理されない。**
* 主査（修士学位論文指導教員），修士論文第一副査，第二副査に1部ずつ渡され，1部は学部事務2課に送付されて保存用とされる。
- (2) **製本** 所定の方法による簡易製本をおこなうこと。
*** 上記の製本方法を満たさない場合は受理されない。**
特に，ばらばらのもの，ばらばらのまま袋に入れたもの，クリップ・輪ゴム・ホチキスで留めたもの，ひもでとじられたもの，穴をあけてフラットファイルでとじたもの，はさみこむだけのバインダーを使用したものなどは受理されないので注意すること。
- (3) **修士論文認定証** 保管用1部の表紙の裏に「修士論文認定証（社会学研究科）」を全面糊付けで貼付する。認定証には指導教員の署名，捺印が必要である。
* 「修士論文認定証（社会学研究科）」は指導教員から受け取ること。
池袋キャンパス教務事務センターでは配付しない。
*** 「修士論文認定証（社会学研究科）」が貼付されていない場合，
認定証に指導教員の署名・捺印のない場合は受理されない。**

6. 修士論文
(本提出)の
その他の形式

(1) **本文**

- ① 本文の用紙は、ワードプロセッサを使用して、A4判用紙に横書きとする。
(ワープロまたはTeXなどの組み版ソフトを使用して作成のこと。手書きは不可)

余白部分の指定： 上側：30mm 下側：25mm
左側：35mm 右側：25mm
製本のため、左側の余白が大きいことに注意すること。

- ② フォントサイズは11ptか12ptを原則とする。
③ その他の細かい書式については指導教員の指示に従うこと。

(2) **表紙**

- ① 「2024年度修士論文」、論文題目、指導教員名、研究科専攻、課程、学生番号および氏名を明記すること。
② 1枚目が透明シートになっている表紙を製本に用いる場合は、第1ページ(扉にあたる)に書いたものがそのまま表紙になる。そうでない場合は表紙に貼り付ける。

背表紙 背表紙には、「二〇二四年度修士論文」、論文題目、氏名を明記すること。

7. 修士論文
(本提出)の
審査手数料

前期課程に在学して所定の単位を修得後、3年次以上に引き続き在学し、論文を提出する場合には、「立教大学学位論文審査手数料規則」を参照し、論文審査手数料を納入すること。
該当者は、指定の金額分の証紙を池袋キャンパス教務事務センター内証紙券売機で購入し、論文と共に提出すること。

8. 修士論文
(本提出)の
審査・口頭試問

審査・口頭試問は32単位以上の単位を修得または修得見込みで、かつ学位論文を提出した者について行う。口頭試問は、主査、第一・第二副査が試験官となり、試験終了後協議を行い、可否を判定する。

9. 論文審査基準

論文審査は次の基準にもとづいて行う。

1. 研究テーマが明確で独創性があること
2. 研究内容と方法が明確であること
3. 論文構成が適切で、論旨展開が論理的で明確であること
4. 文献・史資料の引証や調査データの利用・提示が明確で適切であること
5. 調査・研究に対して倫理的配慮がなされていること
6. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること